

## 会議録

会議名称	令和6年度第1回松伏町地域公共交通活性化協議会		
開催日時	令和6年6月17日（月） 10時00分から10時50分		
出席者	【松伏町地域公共交通活性化協議会委員】※敬称略		
	所属	職名等	氏名
	松伏町	副町長	鈴木 寛
	茨城急行自動車株式会社	取締役社長	大舘 広知
	株式会社ジャパンタローズ	代表取締役社長	和佐見 文男
	松伏交通有限会社	代表取締役	小島 朗
	飛鳥交通株式会社	代表取締役	川野 繁 代理：善福 明
	国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所	計画課長	柳川 拓郎
	松伏町まちづくり整備課	課長	岡田 純明
	吉川警察署	交通課長	北沢 一樹 代理：松村 明彦
	松伏町PTA連合会	—	池田 千恵美
	公募	—	横内 浩一
	公募	—	浦野 久美子
	国土交通省 関東運輸局 埼玉運輸支局	首席運輸企画専門官	高木 純子
	茨城急行バス労働組合	執行委員長	和田 武士
	埼玉大学 日本大学	名誉教授 客員教授	久保田 尚
	埼玉県企画財政部交通政策課	主幹	村上 晶彦
	松伏町企画財政課	課長	鈴木 英樹
松伏町新市街地整備課	課長	兵頭 勇	
欠席者	(敬称略) 一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事 関根 肇 一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 事務局長 藤田 貢 埼玉県 越谷県土整備事務所 道路相談担当部長 坂田 将美 松伏町自治会連合会会長 会長 松下 英治		
事務局	【松伏町企画財政課】 (主幹) 渡辺 武志 (主任) 平良 敏行		

	(主任) 渡邊 麻子 (主任主事) 中川 翔平 <b>【松伏町地域公共交通計画策定支援業務委託業者】</b> 八千代エンジニアリング株式会社
次 第	<b>1 開会</b> <b>2 会長あいさつ</b> <b>3 議事</b> (1) 議案第1号 令和5年度事業報告について (2) 議案第2号 令和5年度歳入歳出決算について (3) 報告第1号 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業)の交付決定について (4) 報告第2号 松伏町地域公共交通計画策定支援業務委託(公募型プロポーザル方式)実施結果について <b>4 協議事項</b> 松伏町地域公共交通計画策定に係る各種調査等について <b>5 閉会</b>
議事録作成者	事務局(企画財政課主任) 渡邊 麻子
配布資料	資料1 町民アンケート調査(案)について

発言者	会議の経過(発言内容・決定事項等)
<b>1 開会</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会を宣言</li> <li>・会議成立を報告</li> <li>・委員変更を報告</li> <li>・欠席者を報告</li> <li>・事務局、計画策定支援業務の委託業者を紹介</li> </ul>	
<b>2 会長あいさつ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長よりご挨拶</li> </ul>	
<b>3 議事</b>	
(1) 議案第1号 令和5年度事業報告について (2) 議案第2号 令和5年度歳入歳出決算について	

会長	関連性があるため、議案第1号及び議案第2号については一括して事務局に説明を求める。
事務局	事務局より議案第1号及び議案第2号について一括して説明。
会長	令和5年度歳入歳出決算については、監事を代表して大館委員から会計監査報告をお願いする。
大館委員	監査の結果、適正であったことを報告。
会長	意見・質問ないか。
各委員	(意見・質問なし)
会長	意見・質問がなければ、議案第1号及び第2号について可決してよいか。
各委員	(委員全員承認)
<b>(3) 報告第1号</b>	<b>令和6年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業)の交付決定について</b>
会長	事務局に説明を求める。
事務局	事務局より報告第1号について説明。
会長	意見・質問ないか。
各委員	(意見・質問なし)
<b>(4) 報告第2号</b>	<b>松伏町地域公共交通計画策定支援業務委託(公募型プロポーザル方式)実施結果について</b>
会長	事務局に説明を求める。
事務局	事務局より報告第2号について説明。
会長	意見・質問ないか。
各委員	(意見・質問なし)
<b>4 協議事項</b>	
<b>松伏町地域公共交通計画策定に係る各種調査等について</b>	
会長	事務局に説明を求める。
事務局	<p>「資料1 町民アンケート調査(案)について」を用いて説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このアンケートは、町民の普段の外出や利用されている交通手段の状況、公共交通に対する意識などについて、現状を把握するためのものである。対象者は満16歳以上の町民の方3,000人を住民基本台帳から無作為抽出する。郵送配布し、回収は郵送方式とWEB回答で行う。</li> <li>なお、資料1は会議用の資料であり、実際のアンケート票は回答者が読みやすいようデザインは今後工夫する。</li> <li>設問Iでは、回答者の属性や使うことが出来る交通手段と付随する状況についてお尋ねする。</li> <li>設問II-1~3では、町民の目的別の外出と、その利用交通手段の状況についてお尋ねする。通勤・通学については、国勢調査で概況の把握が出来ることから、設問の量を減らすため省略し、日常的な買い物、通院及び趣味・遊びについてそれぞれお尋ねする。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問Ⅱ－４では、お出かけの手段全般についてお尋ねしており、路線バス等の認知度や松伏町の公共交通をどの位使っているか等の現状を把握する。</li> <li>・設問Ⅲでは、公共交通に対する考えをお尋ねする。Ｑ１～２では公共交通に対する満足度についてお尋ねし、Ｑ３～５では公共交通をあまり利用していない方に、利用する意向があるか、どのようになれば利用するかをお尋ねする。Ｑ６では普段ご家族・親族の送迎を行っている方がどのように感じているか等お尋ねし、Ｑ７では現在の困り事はない方が多いかもしれないが、将来の心配事についてお尋ねする。Ｑ８～９では、これからの公共交通についての考えをお尋ねする。</li> </ul>
会長	アンケートはいつ頃実施するのか。
事務局	7月中の発送を予定している。
会長	アンケートについて委員からのご意見をいただけるのは本日だけのため、細かい点や調査全体についてでもよいので、ぜひ意見をいただきたい。
委員	対象者が16歳以上とのことだが、年代別に10代で何名、20代で何名という形で抽出するのか。年齢も無作為に抽出するということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年代については無作為に抽出する。年齢も実際の年齢構成とほぼ同じ割合で抽出することになる。</li> <li>・補足として、地区については、居住者が多い地区に対象者が集中してしまう可能性があるため、調整したいと考えている。</li> </ul>
委員	<p>2点確認させていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3,000人を抽出することのことだが、抽出数の妥当性や考え方について、必ずしも3,000人から100%を回収するわけではないため、回収率の考え方、つまり3,000人に対して例えば回収率が6割であった場合の本調査の妥当性について確認したい。</li> <li>・続いてお願いになるが、WEB回答可能とのことだが、例えばQRコードに読み込んでスマートフォンで回答するイメージかと思う。紙では全容を見ることができ、WEBの場合は全容が見えないため、進捗率も示した方が答える方としてはストレスがないと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンプルの妥当性について、回収率については、弊社の経験から少なくとも3割～4割であると考えている。1,000票以上の回答があるという見込みだが、国勢調査や世論調査における考え方を参考にした場合、誤差を5%に収めるためには約400票の回答が必要といわれており、誤差が10%であれば100票超のサンプル数必要となる。回収率が3割～4割とすると、町全体としてはサンプル数が1,000票なので基準を満たしている。また、年代や地区ごとに集計し、1,000票をいくつかに分けた場合、おそらく100票程度以上になると思われる。その場合も10%程度の誤差の範囲に収まるため、調査結果の傾向を把握するには妥当であると考えている。</li> <li>・WEB回答の場合の進捗率の表示については、事務局内で調整中だが、可能であれば表示するようにしたいと考えている。設問数が多いため、回答の序盤は進捗率がなかなか進まず、進捗率を表示することで逆に回答者にとってストレスになる可能性もあることから、あえて表示しないという選択も含め、今後検討する。</li> </ul>

会長	いつ終わるかわからないのはストレスになるかもしれないため、進捗率の表示については可能であればご配慮いただければと思う。
委員	年代などを平均的に取らなければならないのはわかるが、PTAの立場から、より多くの意見を聞いていただきたいと思う。親目線で考えると、例えば駅まで遠い中で送り迎えをすることもある。WEBアンケートの話が出ていたが、無作為で抽出した方だけでなく、町全体で公表して答えていただいたり、偏ってしまうかもしれないが、学校から保護者にメール配信して募集したりするのもよいかと思う。答える年代が親世代に偏ってしまうかもしれないが、16歳以上の兄弟がいる世帯には是非とも答えてもらったり、ご高齢の方にも答えてもらったり、ご高齢で視力が落ちて見づらいかもしれないが、家族と一緒に答えられるかもしれない。よりアンケートに答えやすくすることを考えると、家族と一緒に答えられるというような提案をして、回答数を増やすための周知をしてはいかがか。3,000人でなければならないというものでないならば、全体に周知をしてもよいのではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本アンケートについては、実際の町内の年齢構成とは異なる偏りが出ないようにするため、無作為抽出による3,000人としている。また、調査は本アンケートだけでなく、様々なデータを用いて基礎情報の整理も行っていく。</li> <li>・本アンケートの回答者の多くが、町内で公共交通を利用していない方となる可能性が想定されることから、アンケートの結果によっては、公共交通を利用される可能性が高い方、例えば中高生や高齢者については、アンケートではなく必要に応じて直接お声を伺うことも考えている。いずれにしても、アンケート等の結果を見て追加調査を検討していきたいと考えている。</li> <li>・本アンケートの結果を基に、例えば、公共交通に対する満足度や認知度などを地域公共交通計画において取り組む5年間の目標値に設定する可能性があり、実際の町内の年齢構成とは異なる偏りが出ないように、無作為抽出から大きく変えない方がよいと考えている。</li> <li>・本アンケートの結果によっては、子育て世代については子育て世代対象、高齢者に対してはどのような外出手段を使う高齢者かを絞ったうえで、直接お声を伺うという方法を別途検討したいと考えている。</li> <li>・実際に発送する本番用のアンケートには挨拶文を記載し、回答者の属性が変わらないよう、届いたご本人にお答えいただく旨、また、ご本人の回答が難しい場合にはご家族等に、アンケートが届いたご本人のことについて回答いただくように記載する予定である。</li> </ul>
会長	アンケートを7月に実施後、その結果を見て必要に応じて、高齢者や町外へ送迎をする子育て世代など、ターゲットが明らかになった後、何らかの方法で集中的にご意見を伺うことを検討するとのことである。
委員代理	アンケートの内容について、設問ⅠのQ6に交通系ICカードの設問があるが、可能であればQRコード決済の意見を聞けないか。設問Ⅰに入れるのか、設問Ⅱの買い物の設問に入れるかだと思われるが、QRコード決済についての設問をどこかに入れていただければ、事業者にとって参考になるとと思われる。

事務局	QRコード決済についても回答を得られるよう、今後設問を調整させていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の会議中にアンケート案について全ての意見等を伝えなければならないか。細かい点を申し上げると、色々とお尋ねしたいことがある。</li> <li>・アンケート調査で、例えばバス路線であれば残す路線は何かを確認する必要があると思われるが、設問ⅠのQ2でお住まいの地区を選ぶことができ、設問Ⅱ-1のQ2で普段の買い物先が分かり、これらの設問である程度、行動やどういった乗り物で移動をするかが分かるということか。</li> <li>・細かい点だが、アンケート案の書体に統一されていない箇所がある。</li> </ul>
会長	委員からのご質問のうち、まず一点目のご質問についてはいかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート案に対する質問や意見等があれば、大変申し訳ないが、スケジュールの都合もあり、出来れば本日この場でいただきたい。</li> <li>・配布しているアンケート案は会議用のデザインとなっており、本協議会終了後、アンケートの7月中の発送に向けて、本番用のデザイン校正や細かい文言の統一等を進めさせていただく。</li> </ul>
委員	意見について、例えば明日中又は今週の水曜日までの提出としていただけないか。
会長	意見をいただく期限を決めるということができればと思うが、スケジュール上いかがか。
事務局	今週の水曜日までに事務局宛にご連絡いただければ、アンケート全体のボリュームを見ながらはなるが、設問の追加や文言の修正等の対応について回答させていただきます。
会長	追加で意見等あれば、電話、FAX、メール等の方法で、水曜日までに事務局宛てに意見等を提出いただきたい。 二点目のご質問についてはいかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査で確認すべきバス路線等について、目的別に外出頻度と具体的な外出先を回答していただくようにしており、店舗については弊社で地図情報でも把握できるようにする。また、交通手段についても設問を設定しており、概ねの利用交通手段を把握できることになる。</li> <li>・バスを利用しない方に対して、具体的な路線名やバス停の回答を求めても、回答が難しく、無回答が多くなることが考えられるため、この形式で尋ねることが最善だと考えている。</li> <li>・選択肢が多いため、回答者が見つけやすいように、また、答える時間を減らすための工夫として、選択肢の一部を太字にしている箇所もある。</li> </ul>
会長	大変恐縮だが、何かあれば水曜日までにいただければと思う。いただいた意見を踏まえて最終版を作成し調査を実施するところまで、私が責任を持ち、事務局と相談して作成する。以上について、了承していただけるか。
各委員	(委員全員承認)
<b>5 閉会</b>	